

①令和2年度県食品ロス・食品廃棄物削減優良活動表彰の実施

<目的>

食品ロス・食品廃棄物の削減の取組みを県民運動として一層推進するため、食品ロス等の削減について顕著な功績のあるものに対し、表彰を実施する。

<受賞者> 5団体

【表彰式】



②県食品ロス削減推進計画ハンドブック及び子ども向けパンフレット作成・配布

<目的>

富山県食品ロス削減推進計画の内容を紹介するハンドブックや計画に基づく取組み等と呼びかける子ども向けパンフレットを制作し、関係団体や消費者等に配布することで、県民の理解促進を図る。

<作成部数>

ハンドブック 4,000部

子供向けパンフレット 5,000部

【ハンドブック・パンフレット】



③期間間近商品の優先購入キャンペーンの実施

<キャンペーンの概要>

消費・賞味期限の近接した商品の購入が食品ロス削減につながることを消費者に広く周知し、理解促進を図るため、スーパー等の店頭でポスター、POP等PR媒体を掲示する。

【実施期間】 令和2年10月1日～11月31日

【実施店舗】 期間間近商品の優先購入キャンペーン実施店舗(約140店舗)

<PR媒体>

消費・賞味期限の違いについて周知するとともに、すぐに食べるものは、商品をお店の陳列棚の手前から取ることを啓発。

- ・ポスター、POP
- ・プライスカード用啓発おびによる啓発



【プライスカード用啓発おび】



【ポスター】



【小売店での掲示の様子】

④「食べきり3015運動」推進事業、食べきりサイズメニュー導入促進事業

<目的・内容>

外食産業における食品ロスを削減するため、宴会等での「食べきり3015運動」を推進するとともに、飲食店における「食べきりサイズメニュー」の導入促進を図る。

<登録状況(令和3年2月末現在)>

食べきり3015運動協力店: 302店舗

食べきりサイズメニュー提供店: 381店舗

【協力店募集チラシ】



⑤フードバンク活動促進に向けた検討・調査

<目的>

フードバンク活動の推進は、食品ロス削減の推進に関する法律において、基本的施策として定められており、県食品ロス削減推進計画でも推進事項として位置付けているが、その推進にあたっては検討すべき課題も多いことから、関係者の意見交換会の場を設けるとともに、食品提供企業の意識調査を実施する。

<内容>

(1)意見交換会の開催(2回)

【日 時】令和2年9月23日(水) 13:30～15:00、令和3年2月19日(金) 10:30～11:30

【参加者】食品関連事業者、農業関係者、福祉施設関係者、こども食堂関係者 等

(2)食品製造業意識調査

フードバンク活動の促進に向けた取組みを検討するにあたり、取扱いが比較的容易と考えられる食品製造業の未利用食品の可能性について、製造業者の意識等を把握するとともに、具体的な取組み事例を調査する。

⑥フードドライブ促進事業

<目的・内容>

家庭における食品ロス削減の取組みの促進を図るため、手付かず食品の新たな有効活用策となり得るフードドライブをモデル的に実施するとともに、課題整理し、団体等がフードドライブを実施する際に参考となるマニュアルを作成する。

<モデル実施>

【第1回】黒部市と共同で実施

日時: 8月3日(月)～5日(火)

場所: 黒部市役所

結果: 122名から942点189kgの食品を回収
(インスタント食品や乾物など)

提供先: 黒部市社会福祉協議会を通じて、生活困窮者等の支援団体に提供

【第2回】高岡市と共同で実施

日時: 9月24日(木)、25日(金)

場所: 高岡市役所本庁舎など計6か所

結果: 123名から920点312kgの食品を回収
提供先: 高岡市社会福祉協議会を通じて、福祉施設等などに提供

【第3回】アルビス㈱と共同で実施

日時: 10月30日(金)～11月1日(日)

場所: アルビス高原町店(富山市)

結果: 96名から687点136kgの食品を回収
提供先: 富山市社会福祉協議会を通じて、生活困窮者の支援団体等に提供



【モデル実施の様子】



【マニュアルの作成】
(HPIに掲載)



【のぼり等の作成、貸出し】

⑦「とやまのエコフィード」利用畜産物ブランド化推進事業

<目的>

畜産農家における飼料自給率の向上及び地域内未利用資源の有効活用を図るため、エコフィードを核とした資源の循環を推進し、畜産物の新たなブランド化に取り組む。

<実施内容>

(1)エコフィード需給マッチング推進事業

- ①食品製造業者と畜産農家とのマッチングに向けた調整
- ②エコフィードの成分分析の実施(3検体)
エコフィードの種類: 酒粕、豆腐粕
分析項目: 一般成分、アルコール含量

(2)酒粕エコフィード県産牛肉ブランディング事業

- ・県酒造組合と県肉用牛協会が連携し、酒粕をエコフィードとして活用した県産牛肉の新たなブランド化を推進(給与実証農家: 2戸)
- ・給与実証牛のA5ランクの比率は95%(20頭/21頭)で、県平均(64%; R元年度)と比較し良好。



【酒粕】



【酒粕給与実証の様子】



【給与実証牛の枝肉(A5ランク)】